

### 検索エキスパート研修[意匠]の内容

研修科目	時間	内容	備考
意匠法概論	3	意匠権調査や先行意匠調査を行うにあたっての基礎となる意匠法及び意匠審査基準の概要について解説する。	
意匠の類否・創作非容易性判断について	3	意匠の類否・創作非容易性判断について、審、判決等の事例を基に解説する。	
先行意匠調査実務の基本	2	先行意匠調査に用いる検索キーの活用方法について、特許庁意匠審査官のノウハウを織り交ぜつつ解説する。	
意匠の類否判断と先行意匠調査	3	行意匠調査に基づく類否判断の手法を解説するとともに、事例をもとに先行意匠調査及び類否判断を試行する	
画像意匠公報検索支援ツールの説明	0.5	特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)との違いを解説し、その操作方法を説明する。	
J-PlatPatを利用した先行意匠調査検索演習	2	与えられた課題に対して研修生自らが、特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)を利用して先行意匠調査を行い、講義を通じて習得した知識及び技能を、随時指導者への質問ができる環境下で実践する。	
グループディスカッション（検索結果を用いた類否判断討論）	2	先行意匠調査検索演習の結果について、研修生どうしで討論し、調査報告書を作成する。	
講師からの解説	1	グループディスカッションにおける結果について特許庁の意匠審査に基づいた解説をする。	

※カリキュラムの内容、時間配分については、諸事情により変更になる場合があります。